



平成 18 年 2 月 17 日

生活協同組合コープさっぽろとの トレーサビリティ認証実験用「レイン ボー21 カード」の発行

株式会社ライフ

ライフ（東京都千代田区、社長：磯野和幸）は、農林水産省の主催する「食の安全・安心システム」の開発事業に参画している生活協同組合コープさっぽろ（北海道札幌市、理事長：松村 喬）と、トレーサビリティシステム構築における認証実験用に、ICチップを搭載した組合員証一体型の「レインボー21カード」を発行いたしました。

<実験内容>

事前に個人のアレルゲン情報などをコープさっぽろ店舗に設置されている専用端末からICカードに登録することで、購入する商品の生産・加工情報が閲覧でき、ICカードをかざすことで、特定商品の個人に対するアレルゲン含有判定を行うことが可能となるものです。

何らかの危害が発見された食品が流通してしまった場合、消費者の手許にある商品が該当するかの確認を、消費者自身が自宅に居ながら照会し、安全判定を行うことが可能とします。

このような「食の安全・安心」の追求をサポートした機能が搭載されることで、より付加価値の高いサービスを提供できるものと考えております。

また、将来的には、既に一般の組合員へ発行を行っている「レインボー21カード」へICチップを付帯し、組合員向けサービスの一つとして拡充を図り、より生活に密着したクレジットカードの発行を目指してまいります。

トレーサビリティシステムとは食品の生産・加工・流通などのそれぞれの段階で原材料の仕入先や食品の製造元・販売先などの記録を取り補完することによって食品がたどってきたルートと情報の追跡・遡及ができるもの。

農林水産省では、平成17年度農林水産省ユビキタス食の安全・安心システム開発事業において、食品のトレーサビリティシステムの効率的な普及を推進している。



この件に関するお問合せ先
株式会社ライフ 広報部

03-4503 5120